

子どもにもっと旅を

「冒険広場しそう」

少子化の中で群れて遊べない子どもたちが増えています。元来、子どもたちは、地域の中で育ち、遊びの中から学び育つのが基本です。このような状況の中、子どもたちに遊びのすばらしさを教え、子どもたちの目線で居場所作りに取り組んでいる「冒険広場しそう」を紹介します。

NEWS ボランティア 市民活動センター

市内のNPOや先駆的な活動をしているボランティアやセルフヘルプ活動（当時者団体の活動）を社協のボランティアコーディネーターが取材し紹介します。



体を使って思いっきり遊ぶ

活動のはじまり

「冒険広場しそう」は、兵庫県青少年本部の事業として平成十五年から取り組まれています。運営スタッフは、ボーイスカウト宍粟第三団委員長の植木保さんをはじめ七名のプレリーダーです。

「冒険ひろば」の活動って？

子どもたちが、土や木や水等の自然素材を使い、自分の責任で自由に遊びまわる居場所をつくっています。

「冒険広場しそう」は、「子どもがすわらんと思いつきり野外で遊ぶこと」を趣旨として「けがと弁当は自分もち」

をキャッチフレーズに、一宮町生栖の松本広場（松本重雄さん宅）、□□□シキヤンプ場（一宮町東公文）で活動されています。

「今の子は外での遊び方を知らない。危ない“から”といつまでも手をかけず、親は子どもにもっと旅をさせなアカン」と熱心にお話をいただきました。

現在、植木さんらは西播磨管内の公園、空き地、または学校や自治会などで活躍されています。宍粟市内においては、毎週土曜日に活動されています。

これからの時代を担う子どもたちのために一緒に活動される方を募集されています。興味のある方はお気軽に植木さんまで。

（波賀支部 坂本幸子）

【お問い合わせ】

日本ボーイスカウト西播磨地区宍粟第三団 団委員長 植木 保
TEL/FAX 0790・72・0805

調理 配食

ボランティアさん

募集しています！

社協の福祉サービスをお手伝いしていただけるボランティアさんを募集しています。

調理ボランティア

各支部で実施している配食（給食）サービスの調理を行うボランティアです。グループごとに調理を担当していただいていますので、支部により活動頻度は異なります。グループの皆さんで、また、個人でもお友達といっしょにでも結構です。

配食ボランティア

調理ボランティアが調理した給食（お弁当）を利用者のお宅へ届けるボランティアです。高齢者の方へのあいさつや声かけが大切なふれあいの活動です。

お申し込みは、各支部のボランティアコーディネーターまで、お気軽にどうぞ。